

かけはし2



NO. 6

2021.4月

■事務所 〒875-0041 臼杵市大字臼杵72番地の47

TEL・FAX 0972-83-5911 E-mail hazime.ast8@gmail.com



早いもので新型コロナウイルスの感染が日本国内で確認されてから、1年以上が経ちました。この間、国民の「自粛」以外有効な対策が講じられないまま、時間だけが過ぎていきます。ワクチン接種もようやく日本国内で始まったものの先が見通せず、今後計画通り接種が進むかはわからないといえます。この1年で終息するかについては、医療関係者に伺ってもほとんどが否定的な意見でしたし、私も現在の状況は今後1年近く続くのではないかと懸念しています。ワクチン接種に続き、1日も早く有効な特效薬が開発されることを願っています。

今年も桜は咲きました！
早くもとの生活が戻りますように

2011年3月11日の、あの東日本大震災から10年が経ちました。地震とそれに続く津波、さらには東京電力福島第一原子力発電所の放射能事故による二重三重の被災という、人類史上かつてなかった未曾有の災害。いまだ多くの人々が故郷に戻れないままです。大地震そのものは、人間の力ではどうしようもない自然災害ですが、人々や町の復旧・復興を大きく拒んでいるものは、原発事故による「放射能汚染」です。なぜ、このような事態が起きたのか。その責任はどこにあるのか。本当に原発は安上がりな、「環境にやさしいクリーンなエネルギー」なのか。その検証もないままに、「脱炭素」の掛け声の中、原発の再稼働に向けた動きが強くなっているといえます。

エネルギー問題は生活に密着した重要な問題です。東日本大震災10年目の今、原発問題も含め今後のエネルギー問題をどうするか、国民的な議論が必要です。



今年も「臼杵公園」や「吉四六ランド」では桜が満開に咲きました。昨年は、病室の中からしか見ることでできなかった桜ですが、今年は間近で見ることができました。やはり、健康つてすばらしいと身に染みて感じます。

コロナ禍で新しい生活様式や新しい働き方が見直され始めました。新型コロナウイルスは絶対に歓迎されるべきものではありませんが、これを機会に今の働き方を大きく変えるチャンスです。命と暮らし、安心と安全を守るため、私もできる限りのことをがんばります。そのために、医療現場やそれぞれの職場の様子や困り事など、さまざまな情報をお知らせください。これからもよろしく願います。

2021年県議会第1回定例会の報告

第1回定例会は、2月25日から3月26日までの30日間の会期で開催されました。3月5日と8日に代表質問、9日から11日までの3日間に一般質問が行われました。今回県民クラブからは、羽野議員が代表質問、二ノ宮議員、藤田議員、成迫議員、平岩議員が一般質問に立ちました。予算特別委員会も約2週間にわたって開かれ、主な事業について質疑が交わされました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止対策を含む、7千億円を超える令和3年度一般会計予算案をはじめとした知事提出議案56件と、大分県手話言語条例の制定など議員提出議案3件、および委員会提出議案1件が可決・承認されました。

閉会日には、国の「非正規雇用労働者等に対する緊急支援策」を踏まえ、早急に支援が必要な生活困窮者への生活福祉資金の貸付や、ひとり親世帯への特別給付金の支給に要する経費について追加の補正予算案（全額国庫支出）が提出され可決しました。

今回、昨年（2020年）の第1回定例会において全会一致で採択された「手話言語条例の制定を求める請願」をもとに、県議会の政策検討協議会で検討が進められた大分県手話言語条例案が上程され、可決・成立をしました。手話の普及等に関する県の責務や手話への理解や配慮に努めるよう県民や事業者の役割を定めています。

手話はろう者にとって重要なコミュニケーションの手段ですが、その理解はまだまだ十分に広がっていないと言えませんが、本条例により、手話に対する理解が深まるとともに、必要な人が手話を取得する機会が保障され、意思疎通のための環境整備が進

2021年一般会計 当初予算案の概要

【予算総額】

8年連続プラスの積極予算

当初予算案 7027億3100万円（前年度増7.3%）

〔事業費 5473億7100万円〕
〔人件費 1553億6000万円〕

【「安心・活力・発展」の大分県づくり】

- ポストコロナ社会創造枠（予算特別枠） 133事業
..... 32億 3百万円
- 感染拡大防止対策 17事業
..... 194億47百万円
- 社会経済再活性化対策 45事業
..... 51億42百万円
- 先端技術への挑戦 50事業
..... 12億95百万円
- 投資的経費
..... 1883億36百万円
- 社会保障関係費
..... 866億 9百万円

【主な歳入】

新型コロナウイルス感染症の影響により県税等は大幅に減少する一方、地方交付税及び臨時財政対策債が増加。国の交付金等を積極的に活用し、財政調整用基金（県の貯金）取り崩しを抑制。

- 県 税 1143億円（△10.7%）
- 地方譲与税 153億円（△33.2%）
- 地方交付税 1790億円（+4.1%）
- 財政調整用基金取崩し 65億円（△15.6%）
- 県 債 912億45百万円（+8.0%）

2021年度も 土木建築委員会に所属します

2021年度の常任委員会は、前年と同様土木建築委員会に所属することになりました（敬称略）。

◎大友栄二（自民党）
◎井上明夫（自民党）
阿部英仁（自民党）

二ノ宮健治（県民クラブ）
高橋 肇（県民クラブ）

荒金信生（しんせい大樹会）

◎委員長
◎副委員長



むと考えます。障がいのあるなしに関わらず、みんなが互いに尊重し共生する社会の実現を大いに期待します。

新型コロナウイルス感染予防にかかわって ワクチン接種など地域医療体制について聞きました

《白杵市新型コロナウイルスワクチン接種対策室》

接種対策室

新型コロナウイルスへのワクチン接種が世界的に本格化してきた今年、白杵市でもワクチン接種に向けた対応が始まりました。2月2日に設置されたばかりのワクチン接種対策室にお邪魔をして、現段階での状況と課題や要望についてお話をうかがいました。

対応していただいたのは、白杵市役所新型コロナウイルス接種対策室長の杉野等政策監・福祉保健担当と子ども子育て課母子保健グループ・芳山小百合総括課長代理のお2人。

まだ、設置されて間もないこともありほとんど手探り状態ということでした。強調されていたのは、「安心安全な方法で、どう接種してもらうか。不安を極力少なくしたい」ということでした。以下、聞き取った内容の概要です。

―現段階での課題は？

ワクチン接種に関わる政府の見通しがずれて、先が見えない状況。しかし、ずれたことで市民のみなさんへの広報はしやすくなった(時間ができた)。

―医療関係者や場所の確保は？

医師会と協議しつつ、個別接種で行うこととしている。スタッフの確保上個別の方がよい。接種方法を含め、各地方で事情は異なるので柔軟に行いたい。

―現段階でのワクチン接種に対する市民の反応は？

6〜7割の接種がないと効果が期待できない。接種の意味・意義をどう市民のみなさんに伝えるか、勘違いされては困るので、どう周知するか課題。マスコミ情報が多く、副反応など不安をおおっている。ケーブルテレビ等を有効に活用したい。

―県に対する要望などは？

正しい情報が欲しい。ワクチンはいつ手に入り、どんな配分になるのか。人口割なのか感染者割なのか。私たちの準備は進んでいる。正しい情報を、しっかり周知広報してほしい。

《藤野循環器科内科医院 藤野孝雄院長》

昨年3月19日に、新型コロナウイルスに感染した患者(県内2例目)が白杵市の藤野循環器科内科医院で見つかりました。当時は新型コロナウイルスがどういう病気なのかわからない状況で、混乱もありました。その状況やその後の白杵市の医療体制、今後の課題や対応などについて、藤野院長にお聞きしました。

―当時の状況について

大分市で1例目が出た後で、2例目はどこかとマスコミが注目していた中で、かかりつけの患者さんが感染した。当初はインフルエンザを疑い、検査してみるとどうも違うというところになった。当時は、わけがわからずバタバタした状態だった。

―拡大していった原因について

コロナの詳細が不明な中で、感染力だけは強かったと感じた。人から人に感染するので、感染者を周囲から離すなどに気を付けたいと思えた。逆に、インフルエンザやノロウイルスの患者は、昨年度はほとんど報告されなかった。マスクや手洗いなど感染症対策のお陰かもしれない。

―病院経営の課題について

医療機関の来院者数は減っている。当院でも慢性疾患の方は来院するが、ちよつと風邪をひいたくらいでは来ないようだ。もし、コロナにかかっていたら「はずかしい」「みっともない」「周りに迷惑をかける」と思つて怖くて行けないということ。特に小児科はかなり患者が少ないと聞いている。しかし、一方で感染対策はしなければならぬ。国や県や市の補助はあるが、感染対策のために費用はかなりのかる。

―風評被害について

当院を含めて風評被害はひどかった。今は県の発表も慎重になつてい

るが、それでも根強いものがある。当院では保健所の調査チームが来て「濃厚接触者はいない」ということになったが、調査終了前に実名を発表された。県の方から訂正報道もしてもらえなかった。当院関係者や家族が買い物に行くと、知り合いから遠巻きにされたり、知人に電話したら「今日は来ないで」と言われたりした。かかりつけ患者も同様の被害にあった。実名報道からの数日間、院内感染はなかったが、職員は電話の前で平謝りだった。1か月くらい続いた。感染対策は万全を期していたという気持ちがあったので、頑張れた。しかし、SNSでは相当ひどくボロボロに書かれた。対策は無いのかと思う。インフルエンザはかかってても、治療薬があるので安心。だから風評被害も聞かない。今後は、治療薬が重要になってくる。

―ワクチン接種について

ワクチンに対する不安や不信感のため受けたくない人は一定数いるだろう。そのため患者には強くは勧めないが、それでも多くの方は受けたという。国ではなく、もっと県や市町村が、県民に正確な情報を発信してほしい。白杵市はかかりつけ医を



はじめの活動日誌

1月

- 9日 県教組旗開き(大分県教育会館)
- 10日 臼杵市成人式(臼杵市民会館)
- 31日 社民党臼杵支部黨員集会(臼杵労働福祉会館)

2月

- 1日 スクールカウンセラーについての調査(県教委)
- 2日 臼杵市ワクチン接種についての調査
(臼杵市ワクチン接種対策室)
- 8日 2021年第1回自治体議会課題検討会(県民クラブ)
- 9日 大分政経懇話会(喜楽庵)
- 12日 当初予算知事説明(県庁)
連合大分2021年度予算編成に関わる
対県要請回答検証および意見交換会
- 16日 佐志生地区風力発電建設に関わる
聞き取り調査(臼杵市佐志生)
- 18日 3月議会対策会議(臼杵労働福祉会館)
- 25日 第1回定例会開会(県議会)～3月26日まで
臼杵地区新型コロナウイルス感染医療に
ついて聞き取り調査(臼杵市内医療機関)

3月

- 5日、8日 本会議(代表質問)
- 9日～11日 本会議(一般質問)
- 12日～18日 予算特別委員会(県議会)
- 22日 常任委員会(土木建築委員会)
- 23日 臼杵土木事務所管内対象補正予算の
説明・聞き取り(高橋事務所)
- 24日 種子条例勉強会(県民クラブ)
- 26日 第1回定例会閉会(県議会)
- 29日 臼杵市人材育成市民連携会議
(臼杵市役所)

中心に個別接種。受ける人もその方が安心だろう。

財政面について

病院ごとに事情は異なる。診療科によって、一律ではなく個別対応することが重要。コロナ患者の病床は医師も看護師も通常の倍の人手がいるし、常にスタンバイしていなければならない。コロナの受け入れ病院には、もつと手厚くしてもいいんじゃないか。

今後の対応について

風評被害対策も含め、医療機関に対する対策はもう少し手厚くしてほしい。県や県議会の議員さんにもしっかり取り組んでもらいたい。変異株の問題もあるが、これまでの感

染対策を続けてやっていくことが大切ではないか。終息するまで2年がかかるだろう。広報紙を配布しても読む人は少なく、風評被害防止に対する啓発にしても、直接伝わる方法を考えてほしい。実効性のある対策を先手先手でとっていただきたいと思う。

行政や医療現場でコロナ感染対策に携わるみなさんのお話を直接聞いたことは、とても有意義でした。まだまだ現在の感染状況が改善されるまでは時間がかかりそうです。それぞれの現場でがんばっておられる方々の献身的姿に感謝し、今私たちができることを精一杯やっていかなければという思いを強くしました。

川登臼杵線の道路整備すすむ

県道633号線(川登臼杵線)の道路整備工事が始まりました。周辺住民の同意もとれて、道路拡張に障害となっていた岩盤をショベルカー等で砕き、新たな道路の工事が進んでいます。臼杵市内と乙見地区・野津町川登地区を結ぶ重要な県道です。一部区間が狭くなり交通に不便を感じさせていましたが、これでようやくスムーズに通行できるようになります。



ホームページを開設しました！

～ご意見、ご要望などお寄せください～

新年度になり、新しくホームページを立ち上げました。議員としての活動やプロフィール、最新の議会情報に会報「かけはし2」や様々な調査等々、今後少しずつ充実させていきます。皆様からのご意見やご要望なども受け付けます。どうぞよろしくお願いいたします。

【ホームページアドレス】

<https://hajime-takahashi.jp/>

QRコードはこちら→



【県民クラブHPはこちら】

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

た
け
や
ま

この原稿を書いているさなか、女子水泳の池江璃花子選手が競泳日本選手権100メートルバタフライ決勝で優勝し、リレーメンバーとして東京五輪代表入りを決めました。私と同じ、急性リンパ性白血病にかかり、苦しいがん治療を乗り越えての快挙です。私は、治療の苦しさや、きつさを身に染みて知っているだけに、彼女が見えないところでどんなに努力したかわかります。私には、彼女のような若さも意志の強さも体力も才能もないけれど、県議会の中で、市民や仲間の方々の願いや声をしっかり届けていきたい。池江選手に心からエールを送るとともに、勇気をありがとう。私も頑張るぞ!!